

またnote. 『市民ライターのリポート』



この記事のライターさん

赤平 恵里さん

花や風景、おいしいものが大好きな2児の母。

新年度が始まって2カ月経ちましたが、皆さんはどのような朝を過ごしていますか？私は家族の中で一番早く起きて朝食準備やお弁当作りなど「やることだらけで猫の手も借りたい」くらいドタバタな朝を過ごしています。ほとんどの子育て世帯は、子どもを学校に送り出すだけで精いっぱい、登下校が心配でも付き添いまではなかなか手が回らないのではないのでしょうか。

でもご安心を！市内には、各地区に防犯・見守り団体があり、多くの人が活動されています。黒沢尻北地区は「子どもを見守る会」(地域の愛称は「見守り隊」)が登下校の時間帯に通学路に立って、子どもたちの安全のために活動されています。地域の子どもの幸せを願い日々活動する様子取材し、長期間活動を続けている理由や小中学校の先生からの感謝の言葉などを伺いましたので、詳しくはきたかみリズムをご覧ください。



(上)本年度の「子どもを見守る会」開始式
(下)横断歩道での見守り。最後尾の子どもが渡り終えるまでしっかりと見届けます！



レポートの全文は北上市の都市ブランドサイト「きたかみリズム」をご覧ください。



こちら「きたかみE&Beエフエム」です



顔が見えない分、トークと音楽でリスナーの皆さんと良い関係を築いていきたいです。すてきな時間を一緒に過ごしましょう。

ラジオを聴き始めたのは、中学生の頃だったと思います。当時は好きな音楽番組を聴いて、

次の日に友人とその話で盛り上がっていました。土曜日の夜は、友人が泊まりに来ては朝まで一緒に聴いていましたね。さすがに今はオールナイトで聴ける体力はないですが、ラジオのある生活はもちろん続いています。

担当する音楽番組「Relaxation」では、季節を感じられる楽曲をセレクトしてお届けしています。できるだけ肌で感じられる曲を届けたいので、曲選びはほぼ外で行います。天气が良いときは少し早めに出勤して公園に寄ってみたり、雨の日はカッパを着て川を見ながらポーっとしてみたり…。そんな自然の中で感じた思いを、音楽を通して皆さんに伝えられたらいいなと思っています。皆さんが忙しく過ごす中で、少しでもリラックスできる時間を作りたいです。

パーソナリティ紹介



萩原 隆一 さん

MusicFile「Relaxation」(第4金曜11時30分~12時)を担当。本業は衣料品販売。音楽もファッションも十人十色！



いいあんべ E&Beエフエム 88.8MHz アプリ「FM++」でも聴取できます (おでんせプラザぐるーぷ内)

0197-62-8833 e-be@fm888.jp



ホームページ



Facebook



twitter

まちの話題

市内の話題を紹介

災害に備える重要性を体感 おやかで防災

5/17

子育て世代向けのイベント「おやかで防災」はhoKkoで行われました。

乳幼児がいる子育て世代の防災意識向上を目的に市が初企画し、親子や関係者ら約120人が来場。参加者は、備蓄品を活用した料理の試食のほか、係員から防災グッズの説明を受けるなど命を守る重要性を感じ取っていました。2人の子どもを持つ佐々木歩美さん（下江釣子）は「災害時に小さい子どもがいると準備が大変なので、今から備えていきたい」と話しました。



緑をつなごう 輝くイーハートブの森から 第73回全国植樹祭いわて2023

6/4

第73回全国植樹祭いわて2023は陸前高田市を主会場に行われ、江釣子ショッピングセンター・パルは県南サテライト会場として、関連行事が催されました。

ライブ配信では大会テーマとポスター原画に選ばれた本市出身の2人（詳細はP26参照）が感謝状を贈呈される模様や、天皇皇后両陛下がご臨席された式典の様子が映し出されました。佐藤昌喜さん（67歳）は「49年前に本県で行われた植樹祭に参加した。緑を未来につなぐ重要性を改めて感じた」と語りました。

優れた詩歌作品集を顕彰 第38回詩歌文学館賞贈賞式

5/27

前年に刊行された作品集の功績をたたえる詩歌文学館賞の贈賞式は、日本現代詩歌文学館で開催されました。

詩部門は齋藤恵美子さんの「雪塚」、短歌部門は小池光さんの「サーベルと燕」、俳句部門は星野高士さんの「渾沌」が受賞。星野さんは「これからがスタートラインだと背中を押してもらったようだ」とあいさつしました。



子育てを地域で！ 東北子育てフォーラムinきたかみ

5/28

東北子育てフォーラムinきたかみは、hoKkoで行われました。

ワーカーズコープ・センター事業団北上笑いのたね事業所（後藤誠子所長）が主催し、100人以上が参加。ジェイス代表理事の武田信子氏による基調講演などが行われ、地域で協力する子育てについて考えました。湯浅藍さん（32歳・一関市）は「地域や知人らと協力して子育てしていきたい」と話しました。



恒久平和の祈りを捧げる 第41回岩崎城絵幟まつり

6/4

第41回岩崎城絵幟まつりは、岩崎城址本丸跡で4年ぶりに開かれ、約200人が訪れました。

和賀氏をしのぶとともに平和の願いを込めて開催。岩崎鬼剣舞保存会などが舞を奉納し、夏油神楽や岩崎鬼剣舞スポーツ少年団などが祝舞を披露しました。同少年団の小原莉里杏さん（いわさき小5年）は「緊張したけど上手に踊れた」と笑顔を見せました。

